

生活改善特集號



第 6 號  
發行所 郡民館 額田郡 額田町五  
縣公所 額田郡 額田町五  
愛知縣 額田郡 額田町五  
幸田町 額田郡 額田町五  
印 額田郡 額田町五  
岡崎活版所  
岡崎市龍田町五

自覺と意志の力を

臨時號の刊行に際して



農家の生活は、忙しい忙しいで追いまわされ、時間のゆとりがなく、低い栄養の食物を暗いお勝手で食べ、そして毎日長時間の労働をつづけて稼ぐものの、冠婚葬祭が一生に影響するほどの大きなついでとなつて、早く老いぼれてゆく。とりわけ婦人は家事と農耕と二重につとめて、無理な日常をくりかえしている。——こうしたことはいつも農家から出るグチである。グチをこぼしながらも傳統の日本農業をうけついでからは、何とも致し方はない。文化の恩恵に農村は縁が遠いのだ、とあきらめている向きが多い。ところが、果して農村はこのような窮地からのがれるわけにいかぬのか？ しばられて来た環境や傳統は打開出来ないものか？ ここに一

大反省がなされ、文化國家としての日本農村は、之を解決すべき時代に當面したのである。これをなさずしては農村は浮ばれぬ。この自覺に立つて、新しい農村生活を建設しようとして起きたのが、農村生活改善運動なのであります。本村に於ても、生活改善連絡懇話會が結成され、實行に乗り出したのであります。惟うに日常の實際生活全域にわたる刷新改善はまことに廣汎であり、漠然としていて、容易なことではありませぬ。これに對しては、方針をたて、計画的に改善の分野と端緒とを明らかにしてゆくことが先決であります。そして實踐に當つては、この成否がお互の自覺と意志の力如何にかかっているのであります。生活改善は、眼覚めた農民の自ら

の内部的欲求のあらわれとして創造されてゆくもので、はじめた力があり本ものであると思ふのであります。この意味から、自覺と意志の力を最も端的に要求することがらを、第一次の實踐項目として選んだのが「時間勵行」と「清潔整頓」の二つ

懇話會の出來たわけ



生活の改善は、そのとりあげる面の相違こそあれ、農村が相當の文化水準に達するまでは、一つの運動として大きく提示されるのであります。従つて、農家の生活に關係のある團體、即ち婦人會とか協同組合とか、或は公民館等、何れも事業のうち「生活改善」を擧げているし、農業改良助長法に於ても農業技術の改良と相俟つて、生活改善が重視されていきます。このように、各方面でかけ聲をかけていますと、どこかでやるだらうとか、こちらの計画はあちらではどう扱われるであらうとか、事業遂行上とまどいさせられるのであります

であります。ここに「廣報」臨時號を刊行して主旨を明らかにし、御協力を仰ぐ次第であります。どうか、きめたことは、確實に一步一步と實行されるよう、お互の大きな努力を望んでやみません。生活改善事業の對象となる農家はどの團體からつながらにしても、結局同一の農家であります。そこで、去る七月十一日に、前記各團體や機關の關係代表者が寄りまして、別掲のような連絡懇話會を結成する相談をし、八月十一日に規約の審議を終え、いよいよ發足することになつたのであります。各方面からの意見をこの懇話會に持ち寄りまして、検討を加えた上、實行に移す形式と、事業の主体となる團體とかいふものは、その都度協議されることになりましようが、前記團體や機關のみならず、村内の機關はそれぞれの立場に於て御協力をお願いしたいのであります。とりわけ、各部落の主宰さんには、決定事項の浸透につき、とくと御盡力をお願いしたいのであります。又、各部落からの要望をも、この懇話會までおきかせ願いたいと思ひます。



### 幸田村生活改善連絡懇話會規約

- 第一條 本會は幸田村生活改善連絡懇話會と稱する。
- 第二條 本會は生活改善を共通の事業とする村内各種の団体並に機關が相互に連絡提携して生活改善の實をあげ以て文化日本にふさわしい村を創り出すため生活改善運動の推進を図ることを目的とする。
- 第三條 本會は概ね左の事項について協議する。
  - 一、生活改善に緊要な實踐項目の選定
  - 二、實施方策の立案
  - 三、其他生活改善に關する検討
- 第四條 本會は左の人員を以て構成する。
  - 一、幸田村公民館(館長、厚生部長、書記)
  - 二、幸田村農業改良委員會(委員長、常任委員、普及員、書記)
  - 三、幸田村各農業協同組合長
  - 四、幸田村婦人會(會長、副會長、支部長、生活改善委員長)
- 第五條 本會に左の職員を置く。
  - 一、會長 幸田村公民館長を充つ
  - 二、副會長一名 會長の指名とす
  - 三、書記二名 會長の任命とす
- 第六條 本會の經費は各關係団体並に機關に於てその都度分担支辨す

るものとし、本會に獨立の會計を設けない。

第七條 本規約によりがたい場合は會長の指示に従うものとする。

附 則  
この規約は公布の日から施行する。

必ず國旗を掲げましょう

### 秋分の日

九月二十三日

### 生活改善申合せ

額田郡婦人連絡協議會

- 一、時間を大切に守りましょう。
- 二、衣類は簡素にして實際に即した働きよいものにししましょう。
- 三、食物は經濟的、栄養あるもの本位にししましょう。
- 四、住居は明るく便利で衛生的にいたししましょう。特に台所は清潔にいたししましょう。
- 五、盆、正月の贈答品は止めましょう。
- 六、香奠は名刺代りの程度とし、香奠返しは廢止しましょう。



### 生活改善第一次實踐事項

#### 實踐項目

##### 一、時間勵行

社會生活を營むものとして自他の時間を尊重しなければならぬ。それには定時勵行が緊要である。

##### (1) 司會者

イ、諸會合の終始時間は最も適當な時刻を選ぶこと。

ロ、定刻には出席者の多少に拘わらず必ず開會し特に閉會時間を嚴守すること。

ハ、議事を能率的に行う習慣をつけた定時間内に進行するよう計ること。

ニ、飲食等のむだはなるべく省くこと。

(2) 出席者

イ、個人の不認識が社會的に反影する事を自覺し定時五分前には必ず出席すること。

ロ、定時出席のため一日のプランをたてる習慣をつけること。

ハ、出席不可能の時はその旨事前に出で會に迷惑をかけないこと。

ニ、發言異議の申立て質疑應答等は即時活潑に行い議事の進行を計ること。

(二) 清潔整頓

生活改善の初歩として多大の經費を要せず、工夫によつて實踐できるのは清潔整頓が肝要である。

(1) 台所

イ、台所は明るく。

ロ、器具の置場を定め最も仕事のし易いように配置整頓すること

ハ、流し場を清潔に、排水もよく

ニ、食器類の清潔

(3) 寢室

イ、萬年床廢止

ロ、採光、通風をよく明るく。

ハ、布団は時々日光に乾かす。

ニ、敷布はよく洗濯する。

ホ、D D T 撒布

(4) 便所

イ、清潔

ロ、手洗水の取替え、手拭紙入の清潔。

ハ、草花、臭氣消しの心くばり。

ニ、その他

#### 普及方法

イ、各機關各団体により徹底を図る

ロ、特に主事の協力を求める。

ハ、広報による宣傳。

ニ、相互研究。

ホ、模範者表彰。





時間

寸暇をつくつて

高力 滋野 露子

「時間がない」これが今のすべての婦人の相言葉、葉になつていようです。赤ちやんでもあれば猶更の事、日頃せめて夜だけでも讀書と思つていても一日中食事の仕度と洗濯と子供の世話に追い廻され、其の上農業も同じように従事するので、やつと夜になつてそれから開放されると、もう慾も得もなく眠くなつてしまつて赤ちやんを寝かしつけるのではなくて寝かされてしまふというのが現在の私達の毎日の生活ではないでしょうか。いゝ講座があるけれど忙しくて出られない。たまには氣の合つたお友だちと座談會等を開きたい氣持があつても家に山のようにたまつてゐる仕事を思うと、それさえなかなか思うに任せないので、でもそういつていつまでも家の中にとじこまつていては益々見解が狭くなるばかりで結局話題は近所の噂話というこゝになつてしまいます。

只今では立派な公民館が出来たので、すから婦人會も、ふだん着のまゝで纏物でも足袋のつくらいものでももちよつて氣輕に集るようになりたいと思ひます。そうすれば會の始まるまでの時間や、座談會程度でしたら會が始まつてからでもお仕事をしながら

が楽しい時間をすごされと思ひます。家にたまつてゐる仕事を氣にして時計ばかり眺めていたのでは折角多忙な時間をさいて出て來ても意味のない事になつてしまいます。せいぜい、會合には出席して「井の中の蛙」にならないようにいたしましょう。

司會者のなやみ

坂崎 H 子

「今日の會合何時？」  
「定時勵行二時にはなつてゐるがね」

「あゝ、そう、では三時に行けばよいね」  
こんな會話が涼しい顔で言い交されてゐる時分、廣い會場に一人青い顔をして何かの落ちこみではなからうかと心配顔の鶴首で座つてゐるのは司會者です。

「時間勵行」「時間勵行」と耳にタコのアたる程聞かされてゐるのに馬の耳に念佛と少しも實行されてゐないのはなぜでしょう。  
一度誰もかれもが司會者の立場になつてこの苦しみを味わつて欲しいものです。  
そうしたら時間勵行が出来るかしら――

定時勵行の水準——高力時間!!

近頃方々で色々な會合が催され、大勢の人の意見が持ちちよられ、盛んに討議され行動に移されてゆくことは大變喜ばしいが、まだ集合時刻の勵行はどうもうまくいつてゐない處が多いようである。

これは文化人の最も恥とする点で集まる人々がもう少しみんなのことを考へて一人一人が時間を守りさえすれば出来ることであるが、主催者側も「集まつてくれなければ議題に入ることができない」といつまでも待つてゐるからいけないのである。正時間に必ず始めて、その日の重要議題は後廻しにしてあまり重要でない議題から話し合つて行くようにしたらよろしい。

「時間の勵行」などということは理窟は百も承知二百も合点なのだから良いと思ふことは、一人一人がもう少し積極的に協力するように心がけたいものである。

扱て十數年前の高力時間は七時の定刻が九時過ぎになつても未だ半數の出席もなく十二時頃漸く眠い眼を

こすりこすり區長様が議題を出すといつた悠長振りでその結末はおして知るべしで、少し込みついた問題になれば三晩も積くという醜態であつた。

「これではいかぬ」「何とかよい工夫は」と誰いうとなく改善の叫びが（最善の方法ではないが）罰金制度となり、無断欠席者は勿論やむにやまれぬ事故や病氣でも欠席者は役人夫一人分を賦課され、年末勘定の時罰金が區費よりも多額に上つたという人もあつた。

そして數年懲と自覺のコーラスは定時勵行の良習慣をしつかり植へつけてくれ、いつとはなしに罰金も影をひそめ眞に一人の遅刻、欠席もなかく定刻五分前に全員集合、和やかな雰圍氣のうちに議事はスムーズに進んで行く。かつての忌むらしい標本であつた高力時間は今や標準模範の時間の象徴となつてゐる。

もり上つた自覺協同の力こそ實に崇高偉大なことを今更ながら痛感する。——砂機——

時間勵行

清潔整頓

●洗濯の反省

T S 子

手数をかけて一日中休み暇なく体を動かしていると働きものといわれ今までの習慣を變えて合理的な工夫を加え、手早く仕事を片付けたりすると、図々しいとかナマイキとかいう考え方は、まだまだ改つておりません。

洗濯の仕方にも、もつと改善する余地はたくさんあります。川の水が盟に變つてはいるものの、姿勢も努力も、桃太郎の昔と同じことです。先ず姿勢ですが、立つて洗うようにすると、姿勢にも無理がありません力もらくに入り、手も自由に動き能率的です。空箱でも何でも結構です一番らくな姿勢のとれる高さの台を造ります。汚れた水をかえる時も、一々盥をひつくり返さず、盥の底に栓のできる穴をつけ、栓を抜いて汚れた水を流すようにすると、むだな努力を使わないですみます。

清潔整頓  
火の用心

●明るい社會

海谷 天白川

私は清い小川の畔りにすんでいるので、何でも川へいつて洗います。自分のものは勿論、家中のものまで皆な洗つてやる。一しよに洗濯する主婦連が「まあ男でもよくなさいますね」とほめて下さると嬉しくなつてしまふようなおめでたい男である私は常にサツパリした着物をきる事が好きであるが、今一つ婦人連の話をきくことが好きだ。村中のことはみんなわかつてしまふ。(但しよい面はさつぱりわからない)

主婦連のお話は終始他人の悪口と家のほらである。先ず若嫁の姑の悪口、ばあさんの嫁の悪口、更に自己反省の面など薬にしたくもない。このうもいがみ合いの暗い家庭ばかりかと嘆息させられる。

ではこの暗い社會を明るくするにはどうすればよいか。それは實に簡明瞭である。即ちお互いに悪口をいわないこと、ただそれだけである感情に走らず理性に生きることである。正しい意見に對して素直であればよい。生活改善はまず根本の精神の改善が必要である。

●改善貯金

(ある夜のついで)

荻谷支部 K 子

T子「Kさんところ五百圓ですつてね。」

S子「Kさんところなど一度に何萬圓でも出せるお身分ですもの、所詮私たちとは別な世界よ。」

N子「Yさんところ百圓ですつて。」

S子「月百圓。三年たてばお風呂でもかまどでも理想的なものが出来るわ。」

T子「あ、月十圓。命のある中には何も出来ないわ。」

N子「お互様。子供銀行でも知れてるにねえ。」

S子「月十圓でさえ積りかどうかい。」

老人「今迄だまつてきいていたN子の祖父」

「米まけば米の草はえ米の花さきつゝ米のみある世の中」

S子「何ですつて、おぢいさん。」

老人「まくたねのすぐにそのまゝ生立ちて花と見るまに實のる草々」

N子「私たち今生活改善の種子をまいておつしやるのですか。」

老人「丹精は誰知らずとも自ら秋の實のりのまさる数々」

T子「あら。月があんなにきれいよ」

●我が家の一日

深溝 一女性

家族 主帯主、主婦、父母、子供の五名

午前六時起床主人子供を見ながら寢具の整頓、父は佛参り、鶏の世話と内外の清掃、母は店、主婦は炊事。七時朝食と授乳、八時迄は後片付け終る主人父は店、母は畑、主婦は子供の洗面や乾布摩擦

九時 子供は午睡、主婦雑巾がけ、身だしなみ、洗濯と寢食の準備

十一時 子供の食事

正午晝食、一時までに後片付け

二時子供午睡、主婦の修養時刻

三時授乳、夕食まで繕い物

八時夕食、續いて入浴

十時 寢室に入る

台所日課表

月木 釜、鍋の炭がき

火金 洗濯

水 便所掃除、手洗水毎日取替

土 台所大掃除、布巾は熱湯消毒

日 洗髪と寢具の日光消毒

一日十五日 煙突掃除

大休以上のように定めて實踐しております。

★ ★ ★ 九月の改善メモ

生活改善係

今回婦人会で煙突調べをしましたら、こんな結果ができましたので、かまどのお話をしましょう。

煙突のないかまどは、完全に燃えないから薪が不経済です。又煙が家中ひろがって眼病になりやすい。家中煤だらけで病氣の原因にもなりませんから、力めて煙突をたてましょう。かまどの改善をするならばよいかまどを選びましょう。

かまどの有効熱量

種別	有効熱量	無効熱量
くど	一〇%	九〇%
西洋かまど	二五	七五
よく考えたかまど	三二	六八

三和まかどについて

火持がよく薪が三分の一ですみます。今までのかまどは余り空気が入りすぎ、釜の底をなめるのみで火力の殆んどが煙突へぬけてしまうので多量の熱を逃しています。改良かまどは引戸式焚口を約3/4か4/5しめ

煙突調査 25年9月5日調

支所名	調べた家	えんとつ		%	順位	
		有	無			
長嶺	62	54	8	87.09	4	66.48
久保田	61	49	12	80.33	7	
坂崎	232	133	99	57.32	14	
大草	260	200	60	76.93	10	73.92
高力	89	58	31	65.17	13	
北野、新田	180	139	41	77.22	8	78.11
岩堀	293	218	75	74.40	11	
横落	66	64	2	96.97	1	75.06
萩	113	87	26	76.99	9	
芦谷	130	87	43	66.92	12	
幸田	150	121	29	80.67	6	90.49
里	144	129	25	83.76	5	
海谷	100	88	12	88.00	3	
市場	187	173	14	92.51	2	
計	2,077	1,600	477	77.03		

てしまうため適度な酸素で燃え上った煙は分焰器に吸い上げられ中を一廻りして煙突へぬけるから火力全部が活用され断熱煉瓦の利用で保熱が充分ですから僅かの燃料ですみます。その上火の粉は全然でず藁ぶきの家

でも絶体火災の心配がない。薪の使い方もよく考えて、よく乾かして細く割った方が得です。一度沸騰すれば温度はそれ以上あがりませんから、加減する事が必要です。蓋を開けたまゝでは損ですから、忘れずのこと。

台所改善の第一はかまどの改善です。以上参考までにお話しました。

◎改善の第一歩

市場 三浦エミ

棚を一つとりつけるにも、又物を一つおくのにも、それが工夫された最良の棚のとりつけ方であり、又物のおき方であつたならば、それ自体が生活改善への第一歩であると思ひます。互達の日常生活の本據である家庭生活を深く眺めて見ますと、工夫を要請される点がたくさんあります。毎日忙しい忙しいで計画性のない不合理な生活をしていたならば、何時までたつても文化生活の向上は望めません。家庭労働の大部分が婦人の受持つ所であつて見れば、婦人は余程の創意工夫が必要であると思われまふ。経済の許す範囲内に於て徐々に自らの生活様式に適する改善をして生活能率を高め、そこから生まれる余暇を少しでも多く取り、讀書するなり、ラジオを聞くなりして教養を身につけたいと思ひます。又よいと思ふ事なれば昔の風習にとらわれず切り替えて行くだけの勇氣がほしいものと存じます。そして毎日が明るい、楽しい生活でありたいと念願いたすものでございます。



### ●実践ノ実践ノ

深溝 ほらのふき

昔から生活改善はいやという程きかされている。もう耳にタコでこんなにやかましくいわれても改善されないのは？それは子供の時受けた教育が悪かつたのだ。何事でも理窟でこねて実践をせぬ教育の結果だ。しかしもう三つ兒でもない実践したらよさそうなのである。

右側通行があんなに宣傳されてもさつぱりため、時間勵行を何度きめても少しも守られないではないか。

右側通行、時間を守る位の簡単なことすらできないで台所改善だの結婚改善がどうのといつたつてチャンチャラおかしい次第である。

では生活改善なんかあつさりやめた方がよいか、いや大いに改善すべきである。見よ現に幸田村の部落の中でも右側通行、定時勵行、清潔整頓の模範もあれば、家庭もあるのだそして幸福な生活を営んでいるのだ何もむすかしいことではない。

別にひまがさえるわけでもお金がかかるわけでもなく、しかも自分の爲であり社会の爲になるのだ。  
幸田村一萬三千のお互が足なみそ

### ●食生活の改善

食しんぼう

現在都會人の栄養は向上しているのに反して農村は却つて栄養不良に陥つてゐる。何故に食糧の本来に不良者が増えるか？それは食生活に無關心であるからだ。

忙しいから考えられないとかお金がないからとおつしやる。一應御もつともである。

農村の食生活に不足しているものは何か？それは蛋白質と脂肪だと思ふ。蛋白質は肉類と思えばよろしい。豆類も蛋白質はある。脂肪は油です。菜種が相當あるからもつと多く油をつかうようにしましょう。胃袋を満足させるために飯ばかり何ばいか食べても肥料を作るばかりである。特に妊婦と幼児には栄養満点な食生活を望む。私の家の姑は妊婦と子供は卵、ミルク、肉、果物、新鮮しい野菜等特配してくれます。やれ椎茸はいけない、梨は乳の毒、南瓜はどうのと一度もいわず、迷信にとらわれず現代醫學に叶つた栄養をとる

ろえて生活改善の實踐へ、手近なところから實行しましょう。

ようにいわれます。

今一つ改善することは盆、正月お祭の御馳走の無駄である。一度にたくさん食べても栄養はお腹で貯えることはできません。きまつた量以外は全部尿になつて排出されてしまふわけです。この栄養を一年中に分配して食べて下さい。

私の家ではお祭や正月には常より幾分か馳走しますが大してお金を使いません。祖母さんの理解がよくみんなよろこんでいます。

### ●明るい道に

深溝

私達女の日常生活は變化の少い地味な坦々とした道を歩く様な毎日なのである。倦まずたゆまず私達祖先はこの道を夫の爲、子の爲、歩いて来た。そして今後もお大部分の女は同じ道を祖先が歩いて来たと同じ様に目に見えぬ苦勞と習慣のまゝ歩き續けるのであるか。世は民主化された女の世界もまた明るい陽射しに青い空を仰げる時代が来た。私達もまた女の歩む道をただ無味乾燥なものにせずともと勞力の少い楽しいものにすることは出来ないであらうか。

そこに花を咲かせる事は出来ないものであらうか。毎日を、仕事に樂しみつゝ有意義に過せるように——ここに私達の工夫があり努力があるのではないであらうか。どうせ私達は……女なんか……こんなあきらめの言葉を私達自身の口から昔はよく出した。併し今は女でなくては出来ない仕事——毎日の生活を樂しくする仕事が多多く目の前にある。子供の服の手入に工夫を……物を整理する爲に棚一つでも造つて部屋を清潔にする工夫を……簡単な料理にも家族を喜ばす工夫を……窓を造つて家の中を、そして心の中も明るくする工夫を……敷き出せばきりのない程私達の手許に身近にこの生活の道を改善し潤す工夫が轉がついていないか。毎日夫や子と共に通る生活の道を私達は小さくても不斷の努力で明るい道にしたいと思ふ。

### 公民館は

村づくりの

原動力

改善文藝

農村生活改善のうた

久保田 小野扶蓉

- 一、春風そよそよ 麥畑けすり  
たばこ吸う暇 メモ取り出して  
明日の献立 カロリー調べ  
榮養満点 仕事もはずむ  
舊慣廢除で 理想の村え  
生活改善 有望ね
- 二、夏は早よから 田の草とりよ  
お晝休みの 仮寝の暇に  
あなた「農業」 わしや  
科学取り入れ 「主婦の友」  
舊慣廢除で 能率的に  
生活改善 文化の村え  
有望ね
- 三、秋は黄金の 涼風小風  
利録片手に 青空講堂  
政治、經濟 文化に娛樂  
みんな仕事に とけ合う講義  
舊慣廢除で モダンの村え  
生活改善 有望ね
- 四、冬はろばたで 婦人も共に  
熱と元氣で 顔あからめつ  
燃える紅唇 火花と散つて  
民主部落の 討論會議  
舊慣廢除で 明るい村え  
生活改善 有望ね

詩



川柳

衣食住の反省

時狭 笑 以 痴

ふだん着に困る女房の土用干  
ニールック顔のないのが望ましや  
半袖で間に合うものを腕まくり  
食  
やれ食べよそれ持つて行きや秋祭  
梅干と澤庵漬や麥の秋  
娘三人嫁らせ、白の乾かざり  
住  
井戸端や流しの水の捨てどころ  
雨上り下駄のくい入る物干場  
暗がりて産婦禮いう初産見舞

働く婦人のエチケツト七箇條

- 一、高い氣品は日本女性の誇りです
- 二、仕事を愛する人は尊敬されます
- 三、謙遜と卑下とは違います
- 四、他人の立場は尊重し、いらぬ批評はやめましょう
- 五、本當の美しさは顔より心、身なりはキチンと清潔に
- 六、言葉はあなたの現れです。過ぎず程よく美しく
- 七、つき合いは禮儀正しく、明らかにプライドと責任を持ちましょう

時間勵行

- 文化日本に 遅刻は恥辱
- 定時に定員 明るい會合
- 待つな待たすな 定めの時刻
- 「すみません」より遅れまい
- 守れよ定時 待つ身になつて
- 時間と約束 正しく嚴守
- 一人遅くれて 萬人困る
- 時間に代用品なし
- 明るい社會に 遅刻なし
- 生かす一秒 輝く一生
- 時間嚴守で 明朗幸田
- 口の時より 心の時計
- 無駄口いうまに 一仕事
- 時計の器は前にありながら ためみがちなり人の心は

標語 K S R

清潔整頓

- 化粧より先ず清淨の身だしなみ
- まめに洗濯たつしやな一家
- 清い家から強い民
- 先ず洗え一萬の民二萬の手
- キレイナオテオインシイゴハン
- 手輕な消毒手近に石鹼
- 健康兒 母が日頃のきれいさき
- 清潔に全村一致の力溜
- いつも整頓 あがる能率
- 朝に整頓 夕に反省
- 清潔 整頓 火の用心

結婚改善かぞえ歌

K S K

- 一つとや一人一人が心をかえて 文化日本の縁結び
- 二つとや古い習慣さらりと捨てて 行こう我らの新道を
- 三つとや虚榮にこだわる親御の娘なら 末は亭主を泣かせ妻
- 四つとや嫁の價値は心と身体 衣裳道具はその場だけ
- 五つとや家柄お金で結んだ縁じや どうせ冷たい夫婦仲
- 六つとや無駄な儀禮や酒盛止めて 式は質素におごそかに
- 七つとや何をおいても婚姻届 式の當日出しましょう
- 八つとや止めよ結納は野蟹の昔 妻を賣買した遺物
- 九つとや心身体の丈夫なしるし 共に交わしてはれやかに
- 十とや共に手を取り二人で築け 平和日本の新家庭

短歌募集

- 一、題 「秋の空」並に雜詠
- 二、送先 九月二十日 選者宛
- 三、一人十首以内のこと